

法人単位資金収支計算書

(自)令和 3年 4月 1日 (至)令和 4年 3月31日

法人名：社会福祉法人 大住福祉会

(単位： 円)

勘定科目	予 算	決 算	差 異	備 考
事業収入	153,072,170	152,824,582	247,588	
受取利息配当金収入	118,874	118,874	0	
その他の収入	2,286,000	2,365,123	△ 79,123	
事業活動による収入	155,477,044	155,308,579	168,465	
人件費支出	138,035,000	138,580,407	△ 545,407	
事業費支出	13,880,175	14,810,093	△ 929,918	
事務費支出	19,590,468	19,263,849	326,619	
事業活動支出計	171,505,643	172,654,349	△ 1,148,706	
事業活動資金収支差額	△ 16,028,599	△ 17,345,770	1,317,171	
施設整備等による収入	61,123	61,123	0	
施設整備等補助金収入	61,123	61,123	0	
施設整備等収入計	61,123	61,123	0	
固定資産取得支出	2,307,953	2,307,953	0	
施設整備等による支出	2,307,953	2,307,953	0	
施設整備等資金収支差額	△ 2,246,830	△ 2,246,830	0	
その他の収入	18,200,000	18,200,000	0	
積立資産取崩収入	18,200,000	18,200,000	0	
その他の活動による収入	18,200,000	18,200,000	0	
その他の活動収入計	18,200,000	18,200,000	0	
その他の活動による支出	△ 77,637	△ 103,516	25,879	
その他の活動支出計	△ 77,637	△ 103,516	25,879	
その他の活動資金収支差額	18,277,637	18,303,516	△ 25,879	
予備費支出	2,208	—	2,208	
当期資金収支差額合計	0	△ 1,289,084	1,289,084	
前期末支払資金残高	117,637,830	117,637,830	0	
当期末支払資金残高	117,637,830	116,348,746	1,289,084	

法人単位事業活動計算書

(自)令和 3年 4月 1日 (至)令和 4年 3月31日

法人名：社会福祉法人 大住福祉会

(単位： 円)

勘定科目	当年度決算	前年度決算	増 減
保育事業収益	152,824,582	157,565,346	△ 4,740,764
サービス活動収益計	152,824,582	157,565,346	△ 4,740,764
人件費	138,580,407	123,993,033	14,587,374
事業費	14,810,093	14,754,134	55,959
事務費	19,263,849	14,147,569	5,116,280
減価償却費	14,355,675	12,597,747	1,757,928
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 3,081,204	△ 5,228,186	2,146,982
サービス活動費用計	183,928,820	160,264,297	23,664,523
サービス活動増減差額	△ 31,104,238	△ 2,698,951	△ 28,405,287
借入金利息補助金収益	0	3,960	△ 3,960
受取利息配当金収益	118,874	201,143	△ 82,269
その他のサービス活動外収益	2,365,123	2,756,350	△ 391,227
サービス活動外収益計	2,483,997	2,961,453	△ 477,456
支払利息	0	3,960	△ 3,960
その他のサービス活動外費用	0	1,438,910	△ 1,438,910
サービス活動外費用計	0	1,442,870	△ 1,442,870
サービス活動外増減差額	2,483,997	1,518,583	965,414
経常増減差額	△ 28,620,241	△ 1,180,368	△ 27,439,873
施設整備等補助金収益	61,123	2,120,000	△ 2,058,877
特別収益計	61,123	2,120,000	△ 2,058,877
固定資産売却損・処分損	4	9,075,918	△ 9,075,914
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	0	△ 6,008,161	6,008,161
国庫補助金等特別積立金積立額	61,123	2,120,000	△ 2,058,877
特別費用計	61,127	5,187,757	△ 5,126,630
特別増減差額	△ 4	△ 3,067,757	3,067,753
当期活動増減差額	△ 28,620,245	△ 4,248,125	△ 24,372,120
前期繰越活動増減差額	242,363,893	193,812,018	48,551,875
当期末繰越活動増減差額	213,743,648	189,563,893	24,179,755
基本金取崩額	0	0	0
その他の積立金取崩額	18,200,000	52,800,000	△ 34,600,000
その他の積立金積立額	0	0	0
次期繰越活動増減差額	231,943,648	242,363,893	△ 10,420,245

法人単位貸借対照表

令和4年3月31日現在

資 産 の 部				負 債 の 部			
当年度末	前年度末	増	減	当年度末	前年度末	増	減
流動資産	121,626,420	122,667,802	△ 1,041,382	流動負債	5,277,674	5,029,972	247,702
現金預金	113,765,594	114,174,736	△ 409,142	事業未払金	3,039,496	2,940,169	99,327
事業未収金	0	500	△ 500	預り金	0	520	△ 520
未収補助金	7,632,720	8,270,360	△ 637,640	職員預り金	2,238,178	2,089,263	148,895
前払金	5,900	0	5,900				
前払費用	222,206	222,206	0				
固定資産	267,882,751	298,233,993	△ 30,351,242	固定負債	0	0	0
基本財産	195,473,372	201,462,697	△ 5,989,325	負債の部合計	5,277,674	5,029,972	247,702
建物	195,473,372	201,462,697	△ 5,989,325	純 資 産 の 部			
その他の固定資産	72,409,379	96,771,296	△ 24,361,917	基本金	57,338,545	57,338,545	0
建物	28,876,156	31,559,082	△ 2,682,926	国庫補助金等特別積立金	74,549,304	77,569,385	△ 3,020,081
構築物	11,424,798	14,269,409	△ 2,844,611	その他の積立金	20,400,000	38,600,000	△ 18,200,000
器具及び備品	10,955,797	11,454,367	△ 498,570	人件費積立金	8,200,000	13,200,000	△ 5,000,000
権利	545,596	577,890	△ 32,294	修繕積立金	200,000	13,400,000	△ 13,200,000
人件費積立資産	8,200,000	13,200,000	△ 5,000,000	備品等購入積立金	12,000,000	12,000,000	0
修繕積立資産	200,000	13,400,000	△ 13,200,000	次期繰越活動増減差額	231,943,648	242,363,893	△ 10,420,245
備品等購入積立資産	12,000,000	12,000,000	0	(うち当期活動増減差額)	△ 28,620,245	△ 4,248,125	△ 24,372,120
長期前払費用	207,032	310,548	△ 103,516	純資産の部合計	384,231,497	415,871,823	△ 31,640,326
資産の部合計	389,509,171	420,901,795	△ 31,392,624	負債及び純資産の部合計	389,509,171	420,901,795	△ 31,392,624

財産目録

令和4年3月31日現在

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	高価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金		-		-	-	113,765,594
現金	現金手許有価	-	運転資金として	-	-	41,391
普通預金	京都銀行大住支店 No.646636	-	-	-	-	13,788,243
	京都銀行大住支店 No.650104	-	-	-	-	23,537,960
定期預金	京都銀行大住支店 No.1041991	-	-	-	-	76,400,000
未収補助金		-	特別保育事業費等補助金等	-	-	7,632,720
前払金		-	2022年度会費	-	-	5,900
前払費用		-	2022年度火災保険料等	-	-	222,206
流動資産合計						121,626,420
2 固定資産						
(1) 基本財産						
建物	京都府京田辺市大住下西野77番地、78番地 所有の鉄筋コンクリート造みむらぶき等陸屋根2階建大住保育園同舎1棟 1階155.62㎡ 2階398.31㎡ 木造スレートぶき平家建大住保育園同舎1棟 1階158.01㎡	2000年度 2012年度 2020年度	第2種社会福祉事業である、大住保育園等に使用している	223,419,820 19,963,427 51,200,858	93,244,016 3,959,354 1,877,963	130,175,804 15,974,073 49,323,895
小 計						195,473,372
基本財産合計						195,473,372
(2) その他の固定資産						
建物	京都府京田辺市大住下西野77番地、78番地 所有の鉄筋コンクリート造みむらぶき等陸屋根2階建大住保育園同舎1棟 1階155.62㎡ 2階398.31㎡ 木造スレートぶき平家建大住保育園同舎1棟 1階158.01㎡	2012年度 2013年度 2020年度	第2種社会福祉事業である、大住保育園等に使用している	6,970,663 1,890,090 29,197,430	4,242,216 1,623,250 3,817,471	2,728,447 267,750 25,879,959
小 計						28,876,156
構築物	園庭遊具等	-	保育事業用	40,525,898	29,101,100	11,424,798
器具及び備品	エアコン、厨房機器等	-	保育事業用	29,187,120	18,231,323	10,955,797
権利	電話加入権等	-	保育事業用	684,890	59,204	545,596
ソフトウェア	楽説計算ソフト	-	保育事業用	179,712	179,712	0
人件費積立資産	京都銀行大住支店 No.650104	-	将来における人件費のために積み立てている普通預金	-	-	8,200,000
修繕積立資産	京都銀行大住支店 No.650104	-	将来における修繕費のために積み立てている普通預金	-	-	200,000
備品等購入積立資産	京都銀行大住支店 No.650104	-	将来における備品等購入費のために積み立てている普通預金	-	-	12,000,000
長期前払費用		-	火災保険料	-	-	207,032
その他の固定資産合計						72,409,379
固定資産合計						267,882,751
資産合計						389,509,171
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	3月分給食材料等	-		-	-	3,039,496
職員預り金	3月分社会保険料等	-		-	-	2,238,178
流動負債合計						5,277,674
2 固定負債						
固定負債合計						0
負債合計						5,277,674
差引純資産						384,231,497

(単位：円)

## 計算書類に対する注記（法人全体用）

## 1. 重要な会計方針

## (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし

## (2) 固定資産の減価償却の方法

- ・建物 — 定額法
- ・構築物 — 定額法
- ・器具及び備品 — 定額法
- ・ソフトウェア — 定額法
- ・権利 — 定額法

## (3) 引当金の計上基準

- ・賞与引当金 — 重要性に乏しいため計上しない。
- ・徴収不能引当金 — 重要性に乏しいため計上しない。

## 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

## 3. 法人で採用する退職給付制度

退職給付制度は、京都社会福祉事業企業年金基金が実施する退職給付制度及び、独立行政法人福祉医療機構が実施する社会福祉施設職員等退職手当共済制度に加入している。

## 4. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

## (1) 法人全体の計算書類(会計基準省令第1号第1様式、第2号第1様式、第3号第1様式)

## (2) 事業区分別内訳表(会計基準省令第1号第2様式、第2号第2様式、第3号第2様式)

当法人では、事業区分が社会福祉事業のみのため、省略する。

## (3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式)

## (4) 収益事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式)

当法人では、収益事業を実施していないため、作成していない。

## (5) 各拠点区分におけるサービス区分の内容

## ア 法人本部拠点 (社会福祉事業)

「本部」

## イ 大住保育園拠点 (社会福祉事業)

「大住保育園」

## 5. 基本財産の増減の内容及び金額

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
建物	201,462,697	0	5,989,325	195,473,372
合計	201,462,697	0	5,989,325	195,473,372

## 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩

該当なし

## 7. 担保に供している資産

該当なし

## 8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物(基本財産)	294,584,105	99,110,733	195,473,372
建物	38,058,093	9,181,937	28,876,156
構築物	40,525,898	29,101,100	11,424,798
器具及び備品	29,187,120	18,231,323	10,955,797
合計	402,355,216	155,625,093	246,730,123

## 9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

## 10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

## 11. 関連当事者との取引の内容

該当なし

## 12. 重要な偶発債務

該当なし

## 13. 重要な後発事象

該当なし

## 14. 合併及び事業の譲渡若しくは事業の譲受け

該当なし

## 15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状況を明らかにするために必要な事項

該当なし

# 監査報告書

令和4年 6月 9日

社会福祉法人大住福祉会  
理事長 関根真治 殿

監事 高杉 美子  
監事 松井 啓二

私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

## 2 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

## 令和3年度事業報告

### 施設運営

今年度4月は123名で始まった。4月0歳児が2名しかおらず委託費収入の減少を心配したが、\*8月9月に各1名、10月5名、11月2名の入所があった。また、年度末の3月に1歳児2名の入所があり、全園児数は135名となった。

今年度も園行事は、コロナウイルスの状況により柔軟に対応出来るように考慮し実施しているが、一般的にコロナ慣れしてきている観があり、コロナ対策を行っていても防止できないことがあった。感染予防としては、マスクの着用は一定の効果があり、今後も継続予定である。

今年度は、7月下旬から8月末日までの予定で既存園舎の外壁塗装工事、屋上防水工事、門扉取替工事を年度末の3月に乳児テラス修繕工事を行った。3月の修繕工事をもって規模の大きい修繕工事は終了した。

### 社会福祉充実計画

令和2年度で当初の社会福祉充実計画は終了した。新たな計画は、充実残額がマイナスとなったため暫く予定はない。

### 職員状況

今年度5名の新卒者（保育士4名、栄養士1名）採用、年度途中に保育士1名（短時間パート）採用、退職者2名（60歳定年1名、70歳到達による退職1名）定年退職者は次年度非常勤職員として再雇用を予定。また、次年度の新規採用予定は今のところはないが、次年度も定年を迎える職員がおり状況によりパート職員もしくは非常勤職員を採用することが見込まれる。

### 施設経営

令和3年度決算書類上は、1,289,084円のマイナスですが、積立資産の取崩を行っており、実際の収支は19,489,084円のマイナス。工事を除いた施設運営だけの収支は12,531,037円のマイナスである。

<内容>

施設運営での収入	155,369,702.(事業活動収入+施設整備等収入)
支出	167,900,739.(事業活動支出+施設整備等支出 +その他の活動による支出)
施設運営での収支	△12,531,037.
大規模改修工事	6,958,047.(園舎塗装工事)
積立資産取崩収入	18,200,000.(人件費積立試算+修繕費積立資産)
令和3年度法人全体の収支	△1,289,084.(当期資金収支差額合計)

今回の大規模改修工事(園舎塗装工事)で6,958,047円、その他修繕、固定資産購入で約1,320万円を支出しているため修繕費積立資産1,320万円、人件費積立資産を500万円取崩している。

収入面では、約470万円の減少(内訳:委託費400万円、補助金140万円減少、利用料70万円増加)している。一方、人件費が約1,450万円の増加となっている。経費は、修繕費以外は例年並みの支出であった。

今年度は、収入に対して人件費の割合が高すぎたことがマイナスの最も大きな要因である。ここ数年、人件費率が増加傾向であったが、それが顕著に出てしまった。今後の対策としては、収入を増加させるか、人件費を含む支出を減少出来るように見直しをするか、再考が必要となった。

今年度4月～11月の園児数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0標	2	2	1	1	2	3	8	10	10	10	10	10
短	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1標	17	20	21	22	22	22	22	22	22	22	22	21
短	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
2標	23	23	23	23	23	22	22	22	22	22	22	22
短	1	1	1	1	1	9	3	2	2	2	2	2
3標	20	19	19	19	20	19	19	19	17	17	17	17
短	5	6	6	6	5	5	5	5	7	7	7	7
4標	23	23	23	22	22	22	23	23	23	23	23	23
短	2	2	2	3	3	3	2	2	2	2	2	2
5標	25	25	25	25	26	26	25	25	25	25	25	25
短	2	2	2	2	1	1	2	2	2	2	2	2
合計	123	125	125	125	126	126	132	133	133	133	133	135

\*児童の入退所: 8月0歳児1名入所、8月末3歳児1名退所(他市転出)、9月0歳児1名入所、10月0歳児5名・2歳児1名入所、10月末2歳児1名(11月より他市幼稚園)・1歳児1名(市内こども園)退所、11月0歳児2名・1歳児1名入所

令和3年度年間行事予定		令和3年度年間行事実施状況
4月	☆入園式〔進級児を含む全園児保護者出席〕5日(月)	式は行わず、説明会のみ実施
5月	・園外保育〔4、5歳児〕14日(金) ・尿検査 19日(水) ・保育参加 22日(土) ・内科健診 27日(木)	5/14(金)散歩に変更し実施 6/19(水)予定通り実施 中止 6/10(木)に実施
6月	・歯科検診 4日(金) ・個人懇談 7日(月)～18日(金) ・花の日礼拝 8日(火)	6/4(金)予定通り実施 6/7(月)～18(金)予定通り実施 6/8(火)礼拝のみ実施(慰問中止)
7月	・ゆり組たんけんたい〔5歳児〕9日(金)	お泊り会は中止、9日(金)に「ゆりぐみたんけんたい」を実施
10月	☆運動会〔3～5歳児含〕7日(木)雨天8日(金)に順延 ・園外保育〔3～5歳児〕15日(金) ☆保護者会主催なかよしフェスタ 26日(火)	10/7(木)運動会(3～5歳児) 予定通り実施 10/15(金)3歳児は月読神社、4・5歳児は諏訪が原公園へ分散して実施 10/26(金)在園児のみで実施
11月	☆保育参加〔0・2歳児〕4日(木) ☆保育参加〔1歳児〕5日(金) ・歯科検診 9日(火) ・収穫感謝祭 17日(水) ・内科健診 18日(木)	11/4(木)保育参加(0・2歳児) 予定通り実施 11/5(金)保育参加(1歳児) 予定通り実施 11/9(火) 予定通り実施 11/17(水) 予定通り実施 11/18(木) 予定通り実施
12月	☆クリスマス礼拝・祝会〔4・5歳児の保護者出席〕17日(金)	保護者の参加は父母1名とし実施
2月	・豆まき 3日(木) ・親子で遊ぼう会〔0・1歳児〕保育発表会〔2～5歳児〕19日(土) ☆個人懇談〔希望者〕21日(月)～3/4日(金)	2/3(木) 予定通り実施 2/19(土) 予定通り実施 2/21(月)～3/4(金) 予定通り実施
3月	・お別れ遠足〔5歳児〕11日(金) ・お別れ会 15日(火) ☆卒園式〔卒園児保護者出席〕23日(水) ☆保護者会主催園内清掃 26日(土)	3/11(金) 予定通り実施(京都水族館へバスで行く) 3/15(火) 予定通り実施 3/23(水) 卒園児・保護者1名・一部職員のみで実施 中止、職員のみで実施
随時	・発育測定 ・避難訓練 ・合同礼拝 ・お楽しみ会	
次年度入園進級式 4月4日(月)		

# 令和4年度（2022年度）事業計画

社会福祉法人大住福祉会 大住保育園

## 1 施設の目的、運営方針

### 保育理念

社会福祉法人大住福祉会の運営する大住保育園は、キリスト教保育に基づき、将来の社会を担うべき子どもたちが、今の時を喜びと感謝をもって生き、愛他的能力に充ちた人間として成長できるよう育成し、望ましい未来を作り出す力の基礎を培う。

### 保育目標〔豊かに伸びる〕

- ・自分自身が大切なひとりとして受け入れられていることを感じとり、自分自身を喜びと感謝をもって受け入れるようになる。
- ・互いの違いを認めつつ、一緒に過ごす努力をし、そのことを喜びとするようになる。
- ・自分の力で考え、心を動かし、探求し、判断し、想像力を持ち、創造的にさまざまな事柄に関わるようになる。
- ・自然や世界の事柄に関心をもち、自分たちのできることを考え、行うようになる。
- ・してはいけないことをしようとする思いが、自分の中にあることに気づき、そのような思いに負けない勇気を持ち、行動することができるようになる。

### 保育方法

- ・一人一人の子どもの家庭環境を把握し、子どもの健康と安全を基本にくつろいだ雰囲気の中で楽しく保育する。
- ・礼拝や生活のいろいろな面を通して、豊かな人間性を養う。
- ・子ども一人一人に、深い心を寄せて、主体性を存分に躍動させる。生活や遊びを充分楽しみながら、知らず知らず健康やかな身体とたくましい生命力を育てる。
- ・子どもに、身体的・精神的苦痛を与えない。また、人格を辱めることなどがないようにする。
- ・保護者と誠実に接することにより、信頼関係を築き、保育に関する要望や意見・相談に解りやすい用語で説明をして、公的施設としての社会的責任を果たす。
- ・保育計画は、保育目標を踏まえ乳幼児の実態に即して作成し、個人差に十分配慮しながら展開する。よりよき保育を行うために、常に評価・反省を行う。
- ・保育者は常に自発的に学び、ひとりの人間として自分自身をより成長させるために努力する。

## 2 職員体制

園長 1人 保育士 25人 保育補助 1人 栄養士 3人 調理師 2人 調理補助 1人

## 3 保育を提供する日

開園日：月曜日から土曜日まで

休園日：年末年始（12月29日～1月3日）

日曜日・国民の祝日に関する法律に規定する祝日および休日

入園進級式の午後

暴風警報および暴風雪警報発令時

暴風雨、暴風雪、大雨、大雪、洪水その他の異常な自然現象により生じる災害の発生が予想されるとき

その他園長が特に必要と認めた日

## 4 保育を提供する時間

開園時間

月曜日～金曜日：午前7時～午後7時 土曜日：午前7時～午後4時

## 施設・法人運営について

令和4年度（2022年度）4月の入所児童数は、新入児17名、継続児101名、合計118名でのスタート。前年度は123名であるから5名減となっており、収支のバランスを考慮して事業を行っていきたい。

昨年度は、既存園舎の塗装工事、屋上防水改修工事を行っており、大型の改修工事の予定はないが、経年劣化が見られ危険と思われるものは、修繕等を実施したい。

社会福祉充実計画は、令和2年度に社会福祉充実残額を使い、計画を実施完了しており今年度も計画はない。

地域への働き掛けについては、京田辺市社会福祉協議会と連携して活動できればと考えているが、地域に携わることが出来る担当者を置くことは、現状では厳しくもある。また、京都府社会福祉協議会が行っている、京都地域福祉創生事業へも令和3年度より参画並びに拠出金の拠出を行っており、今年度も同様に行う予定である。

今年度では、施設に対して京都府の指導監査が、法人に対して京田辺市の指導監査がある。

当法人として、京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構による第三者評価の受診、京都府が認証する、きょうと福祉人材育成認証制度への認証申請を今年度中に行う予定である。

## 令和4年度入所児童予定数

	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		合計	
	新	継	新	継	新	継	新	継	新	継	新	継	新	継
標準	7	0	5	9	1	20	1	19	0	20	0	24	14	92
短時間	2	0	1	1	0	3	0	1	0	3	0	1	3	9
合計	9		16		24		21		23		25		118	

〈年間行事予定表〉

4	☆入園進級式〔進級児を含む全園児保護者出席〕 4日(月)
5	・尿検査 18日(水) ・園外保育〔4、5歳児〕 20日(金) ☆保育参観〔4～5歳児〕10日(火)～13日(金) ・内科健診26日(木)
6	・歯科検診 3日(金) ☆個人懇談 6日(月)～17日(金) ※土、日除く ・花の日礼拝 14日(火)
7	・お泊り会〔5歳児〕 8日(金)～9日(土)
10	☆運動会〔1～5歳児〕1日(土) 雨天順延 ・園外保育〔3～5歳児〕 未定 ★保護者会主催なかよしフェスタ 未定
11	☆保育参加〔0～3歳児〕 1日(火) 2日(水) 10日(木) 11日(金) ・歯科検診 8日(火) ・収穫感謝祭 16日(水) ・内科健診 17日(木)
12	☆クリスマス礼拝・祝会〔4・5歳児の保護者出席〕20日(金)
2	・豆まき 3日(金) ☆親子で遊ぼう会〔0、1歳児〕・保育発表会〔2～5歳児〕18日(土) ☆個人懇談〔希望者〕20(月)21日(火)27日(月)～3月3日(金) ※土日祝除く
3	・お別れ遠足〔5歳児〕10日(金) ・お別れ会 14日(火) ☆卒園式〔卒園児保護者出席〕23日(木) ★保護者会主催園内清掃 25日(土)
随時	・発育測定 ・避難訓練 ・合同礼拝 ・お楽しみ会
次年度入園進級式 4月4日(火)	

- ・☆印は、保護者の方にも参加していただく行事ですので、ご都合をつけてご協力くださいますようお願いいたします。(★は保護者会主催)なお、午前中のみで終了する行事もあります。
- ・行事の日程はあくまで予定です。変更になる場合がありますのでご了承ください。詳しい日時等は、毎月の園だより等にてお知らせします。



大住保育園 2022年度 全体的な計画

<p><b>保育理念</b></p> <p>社会福祉法人大住福祉会の運営する大住保育園は、キリスト教保育に基づき、将来の社会を担うべき子どもたちが、今の時を喜びと感謝をもって生き、愛他的能力に充ちた人間として成長できるように育成し、望ましい未来を作り出す力の基礎を培う。</p>		<p><b>保育園の社会的責任</b></p>		<p><b>保育の計画と評価</b></p>													
<p><b>保育目標</b> (豊かに伸びる)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身が大切なひととして受け入れられることを感じとり、自分自身を喜びと感謝をもって受け入れるようになる。</li> <li>・互いの違いを認めつつ、一緒に過ごす努力をし、そのことを喜びとするようになる。</li> <li>・自分の力で考え、心を動かし、探求し、判断し、想像力を持ち、創造的にさまざまな事柄に関わるようになる。</li> <li>・自然や世界の事柄に関心を持ち、自分たちのできることを考え、行うようになる。</li> <li>・してはいけないことをしようとする思いが、自分の中にあることに気づき、そのような思いに負けない勇気を持ち、行動することができるようになる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権に配慮する</li> <li>・子どもの人格を尊重し保育を行う</li> <li>・地域社会との交流や連携を図り、保育の内容を適切に説明する</li> <li>・個人情報適切に取り扱う</li> <li>・保護者の苦情解決を図るよう努める。</li> </ul>		<p>保育の目標を達成するため、方針や目標に基づき、子どもの発達過程を踏まえた保育の内容が組織的・計画的に構成され総合的に展開されるよう、全体的な計画を作成する。これに基づき指導計画、保健計画、食育計画等を作成する。保育士等の自己評価、保育所の自己評価を行い、公表し、保育内容の改善を図る。</p>													
<p><b>保育の方法</b> (目指す保育士像)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の子どもの家庭環境を把握し、子どもの健康と安全を基本にくつろいだ雰囲気の中で楽しく保育する。</li> <li>・礼拝や生活のいろいろな面を通して、豊かな人間性を養う。</li> <li>・子ども一人一人に、深い心を寄せて、主体性を存分に躍動させる。生活や遊びを充分楽しみながら、知らず知らず健やかな身体とたくましい生命力を育てる。</li> <li>・子どもに、身体的・精神的苦痛を与えない。また、人格を辱めることなどがないようにする。</li> <li>・保護者と誠実に接することにより、信頼関係を築き、保育に関する要望や意見・相談に解りやすい用語で説明をして、公的施設としての社会的責任を果たす。</li> <li>・保育計画は、保育目標を踏まえ乳幼児の実態に即して作成し、個人差に十分配慮しながら展開する。よりよき保育を行うために、常に評価・反省を行う。</li> <li>・保育者は常に自発的に学び、ひとりの人間として自分自身をより成長させるために努力する。</li> </ul>		<p><b>養護に関する基礎的事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養護とは、子どもの生命の保持及び情緒の安定を図るために保育士等が行う援助や関わり。</li> <li>・保育所における保育は、養護及び教育を一体的に行う。</li> <li>・養護に関するねらい及び内容を踏まえた保育を展開する。</li> </ul>		<p><b>幼児教育を行う施設として共有すべき事項</b></p> <p>生涯にわたる生きる力の基礎を培うため、保育の目標を踏まえ、資質・能力の3本の柱を一体的に育むよう努める。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、ねらい及び内容に基づく保育活動全体を通して資質・能力が育まれている子どもの小学校就学時の具体的な姿であり、保育士等が指導を行う際に考慮する。</p>													
<p><b>保育の時間</b> など</p> <p>標準時間 7:00~18:00 (延長 18:00~19:00) 土曜 7:00~16:00 短時間 8:30~16:30 土曜 8:30~16:00</p>		<p><b>小学校との連携 (小学校教育との接続)</b></p>				<p><b>小学校以上の教育との接続に鑑みて</b></p>											
<p><b>行事</b></p> <p>入園進級式、園外保育、内科健診、保育参加、歯科検診、個人懇談、花の日礼拝、お泊り会、運動会、なかよしフェスタ、クラス懇談・保育参観、収穫感謝祭、クリスマス礼拝、豆まき、遊ぼう会、発表会、お別れ遠足、お別れ会、卒園式</p>		<p>保育所保育が、小学校以降の生活や学習の基礎の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通じて、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培う。育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教師との意見交換、研究の機会などを設け、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなどして、保育所保育と小学校教育との円滑な接続に努める。子どもに関する情報共有に関して、就学に際し、市町村の支援の下に、子どもの育ちを支えるための資料が保育所から小学校へ送付されるようにする。</p>				<p>育みたい資質・能力は小学校以上の個別の「知識や技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」につながるものである。また、この資質・能力を実現するためにアクティブ・ラーニングを用いる。</p>											
<p><b>年齢</b></p> <p>満1歳まで</p>		<p><b>1歳児 (満1歳から)</b></p>		<p><b>2歳児</b></p>		<p><b>3歳児</b></p>		<p><b>4歳児</b></p>		<p><b>5歳児</b></p>		<p><b>10の姿</b></p>		<p><b>3本の柱</b></p>			
<p><b>子どもの保育目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の生理的欲求を十分満たし、安定した応答的な生活の中で愛着関係を築き情緒を安定させる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・探索活動を十分し、周囲の人や物への興味、関心を広げ、意欲へつなげる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・喜怒哀楽を十分表現でき、象徴機能や、観察力を発揮してあそびをを広げようとする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちとの関わりの中で、保育士の仲立ちにより、相手の気持ちに気づく</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士や友だちとのつながりを広げ、集団で活動することを楽しみ、相手を思いやる気持ちが育つ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手を思いやる気持ちが育ち、生活やあそびの中で一つの目標に向かって力を合わせて活動する</li> </ul>		<p>ア. 健康な心と体</p> <p>イ. 自立心</p> <p>ウ. 協調性</p>		<p>ア. 豊かな体験を通して感じたり、気付いたり、分ったりできるようになったりする「知識及び技能の基礎」</p>			
<p><b>養護</b></p> <p>生命保持</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭との連携を密に取りながら、個々の生活リズムを大切に、生理的欲求を満たす</li> </ul> <p>情緒安定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応答的な触れ合いにより愛着の絆を形成する</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・応答的な関わりを通して、生理的欲求を満たされるようにする</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定した園生活を送る中で、身の周りのことを自分でしようとする気持ちを育てる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣を身につけられるようにする</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣が身につく、自分ができることの喜びを感じられるようになる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣が身につく、自分ができることに自信や満足感をもち</li> </ul>		<p>エ. 道徳性・規範意識の芽生え</p>		<p>イ. 気付いたりできるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする「思考力、判断力、表現力等の基礎」</p>			
<p><b>健やかに伸び伸びと育つ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寝返り、ハイハイ、お座り、つたい歩き、歩くなどそれぞれの状態に合った活動を十分に行う</li> <li>・園生活を通して食事・睡眠・あそびなど生活リズムの育ちを促す</li> </ul>		<p><b>健康</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行に伴い、探索活動が盛んになり、外界への興味や認識を広げていく</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全身や手指を使うあそびを楽しむ</li> <li>・身のまわりの清潔や安全の習慣を少しずつ身につけていく</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・外あそびを十分するなどあそびの中で体を動かす楽しさを味わう</li> <li>・生活の流れがわかり、自分なりに身のまわりのことが自分ができるようになる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険なものや場所についてわかり、道具や用具などを使って体を動かしてあそぶ</li> <li>・健康、安全な生活に必要な習慣に関心をもち、次第に身につけようとする</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険な場所や物事などがわかり、安全について理解して行動する</li> <li>・健康安全な生活に、必要な習慣が身につく、見通しをもって行動する</li> </ul>		<p>オ. 社会生活の関わり</p> <p>カ. 思考力の芽生え</p> <p>キ. 自然との関わり・生命尊重</p>		<p>ウ. 心情、意欲、態度等が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力、人間性等」</p>			
<p><b>身近な人と気持ちが通じ合う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・喃語や片言を優しく受け止めてもらい、応答的な関わりの中で、発語や保育士とのやりとりを楽しむ</li> <li>・特定の保育士との深い関わりにより基本的信頼関係が生まれる</li> </ul>		<p><b>人間関係</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士との安定した関わりの中で周囲の人に自ら関わろうとする</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士の仲立ちにより、友だちと一緒に過ごす楽しさを知る</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・やってはいけないことが分かり、我慢しようとする</li> <li>・簡単なルールを守ってあそぼうとする</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちの気持ちがわかり、喜びや悲しみを共感し合う</li> <li>・友だちと楽しく生活の中で、決まりの大切さに気づき、守ろうとする</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いに許したり、認めたりできるようになり、仲間意識を高める</li> <li>・地域の人や近隣の友だちなど自分の生活に関係の深い人たちに親しみをもち</li> </ul>		<p>ク. 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚</p> <p>ケ. 言葉による伝え合い</p>		<p>ウ. 豊かな感性と表現</p>			
<p><b>身近なものに関わり感性が育つ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して環境の下で、身近な物に興味・関心を持ち、つまむ・たたく・引っ張るなどの手や指を使ってのあそびを楽しむ</li> <li>・讃美歌やわらべうたなどを楽しく聞いたり、歌やリズムに合わせて手足や体を動かして楽しむ</li> </ul>		<p><b>環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士の応答的な関わりにより、声や言葉で気持ちを表そうとする</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士が仲立ちとなり、生活やあそびの中で言葉のやりとりを楽しむ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活に必要な言葉が、自分の経験したことや思っていることを話したりして言葉で伝える楽しさを味わう</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の話を聞いたり、自分の経験したことや思っていることを話したりして言葉で伝える楽しさを味わう</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の話を注意して聞き、相手にわかるように話したり、わからないことを尋ねたりする</li> </ul>		<p>コ. 豊かな感性と表現</p>		<p>コ. 豊かな感性と表現</p>			
<p><b>情報公開等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権尊重・虐待確認保護・個人情報保護・苦情処理解決対応及び第三者委員、栄養士等の配置、適正な園運営のための会計事務所による外部監査・ホームページの開設・(給食試食会)・障がい児保育・延長保育等</li> </ul>		<p><b>地域の実態に対応した保育事業と行事への参加</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人的物的面の確保、保育教諭の確保により乳児保育を含む3歳未満児の受け入れを推進し、対応する。</li> </ul>		<p><b>自己評価等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人施設による適切な施設運営管理の評価、保育所の評価(全体の反省による全体計画等の反映)、保育士等の評価(自己評価と子どもの評価の確立)、自己チェックリストの実施と危機管理マニュアルの作成、習得</li> </ul>		<p><b>特色ある教育と保育</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キリスト教に基づく保育</li> <li>・自然を生かし、のびやかな心と体を育む保育</li> <li>・保育環境を整え、遊びを豊かにする保育</li> </ul>		<p><b>健康支援・状態把握・増進・疾病対応</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康及び発育発達状態の定期的、継続的な把握・年2回の嘱託医による健康診断(内科・歯科)・登園時及び保育中の状態観察、また異常が認められたときの適切な対応・職員健康診断及び毎月の検便</li> </ul>		<p><b>環境及び衛生管理並びに安全管理(危機管理計画別紙)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内外の設備、用具等の清掃及び消毒等、安全管理及び自主点検</li> <li>・子ども及び職員の清潔保持・感染予防対策指針の作成と実施及び保護者との情報共有</li> <li>・インフルエンザ・コロナ対応</li> </ul>		<p><b>災害への備え(避難計画別紙)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練(火事・地震・風水害・不審者対応)の実施</li> <li>・消防署指導による消防訓練</li> <li>・被災時における対応と備蓄</li> <li>・年2回外部業者による消防設備点検</li> <li>・月2回消防設備等自主点検</li> </ul>		<p><b>子育て支援</b></p> <p>教育及び児童福祉としての保育並びに子育て支援の有機的な連携が図られ、子どもの成長に気付く、保育の質の向上に向けた組織的な取り組みを行う。職員研修、外部研修など体系的な研修計画を作成し、結果を活用する。</p>		<p><b>職員の資質向上(研修計画別紙)</b></p> <p>質の高い保育を展開するため、一人ひとりの職員についての資質向上及び職員全体の専門性の向上を図るよう努める。保育所職員に求められる専門性を理解し、保育の質の向上に向けた組織的な取り組みを行う。職員研修、外部研修など体系的な研修計画を作成し、結果を活用する。</p>	

0歳児 月主題 月のねがい

1・2歳児 月主題 月のねがい

2022年度 年主題 つながって 今、わたしを生きる	0歳児 月主題 月のねがい			1・2歳児 月主題 月のねがい		
	月	主題	月のねがい	月	主題	月のねがい
	4月	はじめまして	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神さまからお預かりしたいのちとして大切にされる</li> <li>・新しい場所で友だちや保育者と出会う</li> <li>・自分のありのままを表現して受け止めてもらう</li> <li>(保)一人ひとりの生活リズムや発達段階に合わせて丁寧に関わる</li> </ul>	4月	よろしくね	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者と祈ったり、賛美する中で神さまと出会う</li> <li>・受け入れてもらえる安心感を持ち、過ごす</li> <li>・体の草花、虫などに触れ、心を開いていく</li> <li>(保)神さまが与えてくださった子どもや親との出会いを喜び、丁寧に関わっていく</li> </ul>
	5月	なにか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神さまに守られて安心して過ごす</li> <li>・好きな保育者のそばで、いろいろなものに手をのばす</li> <li>・戸外に出て心地よい風に吹かれたりきれいな花を見る</li> <li>(保)おだやかなまなざし、やさしい言葉かけをしながら一人ひとりを大切に受け入れる</li> </ul>	5月	おもしろい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さんびかに親しみ、心地よさを感じる</li> <li>・保育者に受けとめてもらい、少しずつ自分を表現する</li> <li>・新しい環境や生活リズムに慣れて、興味が広がる</li> <li>(保)一人ひとりの発達に応じて関わり、言葉かけをしていく</li> </ul>
	6月	めをとめて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者の祈りやさんびかを歌う姿を見る</li> <li>・周りのものや人に興味をもち始める</li> <li>・様々な自然に触れ、親しみ、身体で感じる</li> <li>(保)一人ひとりのことをよく見て、何に興味があるかを知って関わる</li> </ul>	6月	めをとめて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者の祈りの言葉に心を合わせようとする</li> <li>・保育者や友だちのしていることに目をとめ、興味をもつ</li> <li>・好きな場所、人、ものに関わろうとする</li> <li>(保)子どもたちが注目しているものを一緒に見て共感する</li> </ul>
	7月	きもちいい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者の祈りやさんびかに親しむ</li> <li>・保育者に汗を流してもらって、気持ち良いと感じる</li> <li>・砂や水に触れてその感触に興味を示す</li> <li>(保)こまめな水分補給や着替え、沐浴などを行い快適に過ごせるようにする</li> </ul>	7月	きもちいい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さんびかを喜んで歌う</li> <li>・保育者との関わりの中で自分の思いを知る</li> <li>・砂や泥、水や草花に触れて、気持ちよく遊ぶ</li> <li>(保)様々な素材に親しめるように環境を整える</li> </ul>
	8月	ゆったりと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神さまや周りの人たちに守られ愛されていると感じる</li> <li>・ゆったりと過ごす</li> <li>・暑い夏を体調を整えて過ごす</li> <li>(保)熱中症や感染症に配慮し、ゆったりとした時間の流れを子どもと楽しむ</li> </ul>	8月	ゆったりと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神さまや周りの人たちに守られ、愛されていると感じる</li> <li>・家族や友だちともゆったりと過ごす</li> <li>・虫などをゆっくり見たり、触ってみたりする</li> <li>(保)熱中症や感染症に配慮し、ゆったりと過ごせるように保育を組み立てる</li> </ul>
	9月	のびのびと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お祈りやさんびかを歌う姿を見てまねようとする</li> <li>・保育者と一緒に空の雲を見たり虫の声を聞いたりする</li> <li>・興味の幅が広がるのびのびと身体を動かす</li> <li>(保)それぞれの子どもの身体発達をよくみて必要に応じた関わりをする</li> </ul>	9月	きこえる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さんびかや聖書のお話に親しむ</li> <li>・保育者との関係が深まって、遊びや応答を楽しむ</li> <li>・夏から秋に移り変わる中、虫の声に耳を傾けたり、風を感じたりする</li> <li>(保)子どもたちのしていること、思いに寄り添い、言葉を添えていく</li> </ul>
	10月	ひろがる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者と一緒にさんびかを歌おうとする</li> <li>・全身を使って繰り返し遊ぶ</li> <li>・思っていること、見たことを身体で表現しようとする</li> <li>(保)拾ったりつまんだりし手先を使った遊びの環境を作る</li> </ul>	10月	ひろがる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友だちと一緒に祈りさんびする</li> <li>・友だちとの関わりを楽しみ、様々なことを共有する</li> <li>・季節の移り変わりを全身で感じる</li> <li>(保)成長過程を理解しこれからを予想しつつ個々の状態に合わせた配慮をする</li> </ul>
	11月	みつけた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者の「ありがとう」という祈りを通して神さまを感じる</li> <li>・保育者や友だちとの触れ合いや関わりを楽しむ</li> <li>・秋の爽やかや季節の移り変わりを見つけて喜ぶ</li> <li>(保)神さまから与えられた恵みを子どもたちと共に感謝する</li> </ul>	11月	じゅっくりと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神さまがくださった豊かな恵みに気づき、味わうことを通しても感謝する</li> <li>・友だちとの関わりを楽しみ、様々なことを共有しながら気持ちを深める</li> <li>・木の実や葉を拾ったり集めたりし遊びに取り入れ楽しむ</li> <li>(保)興味のあることにじゅっくりと取り組めるように環境を設定していく</li> </ul>
	12月	うれしいね	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリスマスを保育者・友だちと一緒に待ちイエスさまのお誕生を喜ぶ</li> <li>・保育者のまねをしたり、言葉をかけてもらいながら過ごす</li> <li>・暖かな雰囲気の中でクリスマスを感じ絵本やさんびかに親しむ</li> <li>(保)冬にむけて感染症予防にこころがけ、換気、加湿に配慮する</li> </ul>	12月	うれしいね	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友だちとクリスマスを楽しみに待ち、祝う</li> <li>・保育者に見守られながら自分でできることが増える</li> <li>・絵本やさんびか、装飾などを通して、クリスマスの雰囲気味わう</li> <li>(保)アドベントからクリスマスの本当の意味を伝え、共に喜ぶ</li> </ul>
	1月	いっしょに	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神さまに守られていると感じる</li> <li>・保育者や友だちと一緒にいることを喜ぶ</li> <li>・自分でやってみようとするが増え、色々なことを試してみる</li> <li>(保)子どもの遊びを見直して環境を整える</li> </ul>	1月	いっしょに	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆が神さまに守られ、愛されていることを知り、一緒に喜ぶ</li> <li>・友だちと関わりながらごっこ遊びを楽しむ</li> <li>・外気に触れながら、冬の自然の中で身体を動かす</li> <li>(保)寒い中でも戸外に出ていき、冬の自然を楽しめるようにする</li> </ul>
	2月	いっしょに	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者と一緒に祈ろうとする</li> <li>・友だちの存在を身近に感じ関わり合う</li> <li>・外気に触れながら冬から春に向かう自然の中で身体を動かす</li> <li>(保)一人ひとりの育ちや個性を受けとめて関わる</li> </ul>	2月	いっしょに	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分から神さまに祈ろうとする</li> <li>・保育者や友だちにも思いがあることに気づく</li> <li>・全身を使ったり、手指を十分に使って遊ぶ</li> <li>(保)保育者との安定した関係を基盤に、他の人との関係が広がるように支える</li> </ul>
	3月	おおきくなった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな時も神さまと一緒にいると感じる</li> <li>・心も身体も満たされて過ごす</li> <li>・戸外に出て春の訪れを感じる</li> <li>(保)一人ひとりの成長した姿をしっかりと捉えて次年度につなげる</li> </ul>	3月	おおきくなった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも一緒にいてくださる神さまに感謝する</li> <li>・友だちとの関わりを深め安心して過ごしながら大きいクラスになるのを楽しみに待つ</li> <li>・季節の変化を感じ、春を見つける</li> <li>(保)一人ひとりの育ちをよく見てしっかりと次年度につなげる</li> </ul>

3歳児 月主題 月のねがい

4・5歳児 月主題 月のねがい

2022年度 年主題 つながって 今、わたしを生きる	3歳児 月主題 月のねがい		4・5歳児 月主題 月のねがい	
	月	主題	川	主題
	4月	はじめの歩	4月	はじめの歩
	5月	心地よく	5月	心地よく
	6月	探ってみる	6月	探ってみる
	7月	あらわして	7月	あらわして
	8月	祈りあう	8月	祈りあう
	9月	のびやかに	9月	のびやかに
	10月	みんながって みんないい	10月	みんながって みんないい
	11月	分かち合う	11月	分かち合う
	12月	喜びあふれて	12月	喜びあふれて
	1月	つたえあう	1月	つたえあう
	2月	響きあって	2月	響きあって
	3月	信じて進む	3月	信じて進む

月のねがい

- 4月 始めの歩
  - ・新しい生活の場で神さまの愛を感じる時、賛美や祈りの時を心地よく感じ、安心して過ごす
  - ・自分が受け止められ安心を重ねていく中で好きな遊びや場所が見つかる
  - ・春の訪れを喜び、草花や虫など命あるものと触れ合うことや絵本や歌などに親しむ
  - (保)子ども、保護者、保育者同士、ありのままの姿を受けとめ、共感をもって関わる
- 5月 心地よく
  - ・日常の中で保育者や友だちとさんびかを歌い、お祈りし、神さまを身近に感じる
  - ・自分の好きなことや遊びをしながら、周りの子どもや保育者を感じる
  - ・木々の葉、空の色、吹く風などに心を遊ませ、自然の中に生かされている心地よさを感じる
  - (保)一人ひとりの遊びや生活の様子をとらえ、運搬をしながら個々の思いに寄り添う
- 6月 探ってみる
  - ・さんびかや聖書の話、身の回りのことを通して、神さまの存在を感じる
  - ・時間や空間を十分に与えられて、やってみたいことをたっぷり楽しむ
  - ・砂場や絵の具、体を動かすなど、色々なことを試してみる
  - (保)好きな物・遊び・場所・人を感じながら、自分から心と体を動かしている姿を大切に
- 7月 あらわして
  - ・お休みの友だちや自分の身の回りのことを覚えて祈る
  - ・保育者や友だちと一緒に遊ぶ中で、色々な思いを表すようになり、葛藤も経験する
  - ・砂・泥・水などの感触を親しみ、思う存分楽しむ
  - (保)目には見えにくい心の内に思いを寄せ、自己を表している様々な姿を受けとめる
- 8月 祈りあう
  - ・いつでもどこにいても神さまが共にいてくださることを感じ祈り合う
  - ・いつもとは違う人との関わりや環境の変化も通して、興味関心が広がる
  - ・セミの声、木陰の風の心地よさ、匂の野菜・果物の美味しさなど夏ならではの経験をする
  - (保)熱中症や感染症に留意し、水分や休憩を取りながらゆっくり過ごす
- 9月 のびやかに
  - ・礼拝、祈り、さんびかを通して心を動かす
  - ・好きな遊びを通して気持ちの合う友だちと出会い、心も体も伸びやかに過ごす
  - ・空や風、虫など身近な事柄を通して季節の移り変わりを感じる
  - (保)様々な遊びの中で、試行錯誤できるように、関わりや環境を工夫する
- 10月 みんながって  
みんないい
  - ・神さまからいただいている一人ひとりの賜物が大切にされる
  - ・好きな遊びをじっくり繰り返す中で、試したり、自分なりに工夫してみようとする
  - ・戸外で身体を動かすことも楽しみ、友だちの姿を見ながら自分もやってみようと思う
  - (保)一人ひとりの思いに寄り添う。子どもの背後にある保護者の思いを理解する
- 11月 分かち合う
  - ・神さまがすべてのものを創り育み、愛してくださっていることを知る
  - ・友だちとイメージを合わせながら、一緒に作ったり、ごっこ遊びをすることを遊ぶ
  - ・秋の自然物に触れながら、色々な表現をする。じっくり取り組み、満足感を味わう
  - (保)保育者間、保護者との連携を図りながら生活習慣や子ども同士の関係性を深く読み取る
- 12月 喜びあふれて
  - ・イエスさまが一人ひとりのためにお生まれくださったことを知り喜ぶ
  - ・賛美や聖書のみことば、ページェント、祝会などを通して、イエスさまのお誕生の意味を思い
  - ・友だちや家族と一緒に喜びを分かち合う
  - ・寒さの中でも戸外で体を動かし、友だちや保育者と一緒に遊ぶことを遊ぶ
  - (保)クリスマスの意味を知り、共に考え工夫して環境や雰囲気を作っていく
- 1月 つたえあう
  - ・クリスマスにお生まれになったイエスさまのお話を聞く
  - ・伝承遊びなどにも興味を広げ、その姿を友だちや保育者に伝える
  - ・霜柱、氷、雪などの冬の自然の不思議を感じ、触れながら遊ぶ
  - (保)つながりを大切に、新しい遊びや広い視野をもって生活しようとする姿を支える
- 2月 響きあって
  - ・喜びをもって礼拝を守り、自分から賛美や祈りをしようとする姿が見られる
  - ・子ども同士のつながりが出てくる。遊びを通して心を響かせ合う経験をする
  - ・庭の木々の芽の変化や鳥の声に気付き、保育者や友だちと一緒に季節の移り変わりを感じる
  - (保)成長する姿を捉え、その子らしく進むための必要な配慮を同僚や保護者と共有する
- 3月 信じて進む
  - ・いつもイエスさまが共にいてくださることを信じて新しい生活に希望をもつ
  - ・互いにありのままの姿を出し合い、受けとめ合いながら心ゆくまで遊ぶ
  - ・球根の芽や花の匂い、あたたかな日差しなど、春の訪れを感じ喜ぶ
  - (保)成長させてくださった神さまに感謝し、委ねて祈ると共に1年間の保育を省察する

月のねがい

- 4月 始めの歩
  - ・賛美や祈りの中、聖書の話や、また生活を通して、神さま・イエスさまの愛を感じる
  - ・これまでの関わりにも重ね、新たに出会った保育者や友だちと交わる中で居場所が生まれる
  - ・光・風・草花・虫など、自然のおもしろさ・美しさを楽しむ
  - (保)一人ひとりの心とつながりを持ち、生活や遊びの歩一歩を支える。困った時や悲しい時に相談できる存在となる
- 5月 心地よく
  - ・神さま・イエスさまと一緒にいてくださることを喜び、安心して
  - ・好きなことに心を寄せ、自分らしさをもって過ごす
  - ・春から夏への移り変わりの中、心身を開放し、喜んで過ごす
  - (保)一人ひとりの声(言葉)をゆったりと聴き、思いを受けとめる
- 6月 探ってみる
  - ・嬉しい時にも、悲しい時にもお祈りをする。
  - ・興味関心をもったことを一人でも友だちと一緒に、考えたり、調べたり、大人に聞いたりする
  - ・葛藤や挫折も通しながら考え、手や体を動かすことを重ね、ゆったりと様々なやり方を身に付けていく
  - (保)すぐに答えを出すのではなく、共に考え、子どもが見つけていくプロセスを大切に
- 7月 あらわして
  - ・ことば・歌・体で、(正)を賛美する
  - ・自分の思いや考えを態度や言葉にして相手に伝えることで、お互いの思いに気づき、関わり方を考えるようになる
  - ・絵本やお話や歌などに親しみ、イメージ(想像の世界)をふくらませる
  - (保)気づきや発見を大事に受けとめ、子どもが安心して喜んで表すことができるように支える
- 8月 祈りあう
  - ・神さまが私たちにくださっている平和を知り感謝し、平和を作り出す一人になれるように祈る
  - ・平和に関する話を聞いたり絵本などを見て、心を動かし、できることを考える
  - ・ゆったりと穏やかに落ち着いて暮らす
  - (保)共に考え合う中、愛されていることや与えられているものに感謝することを大切にする
- 9月 のびやかに
  - ・礼拝の時を大切に思い、聖書の話(神さまのみことば)に心動かして聞く
  - ・友だちと一緒にいることや、友だちとイメージを共有して遊ぶことを愉快だと感じる
  - ・一人ひとりが自分らしさをもって、今を楽しむ
  - (保)保育者自身が、自然界の変化やおもしろさを五感で感じていく
- 10月 みんながって  
みんないい
  - ・神さまが一人ひとりを受し養ってくださっていることを知り、喜び、感謝する
  - ・一人ひとりのその人(子)らしさに気づいて、おもしろさや楽しさ、素晴らしさ、また難しさも感じ合う
  - ・空の美しさや風の気持ちよさを感じながら、心身の伸びやかに動かし動かす
  - (保)目の前の子どもたちの興味や喜びを知り、そこからも活動や行事を創り出す
- 11月 分かち合う
  - ・神さまの恵みを感謝して分かち合い、共に賛美し、祈りを合わせることで表す
  - ・友だちとイメージを合わせたり、思いや考えの違いを調整し合せて遊ぶ
  - ・人でも、仲間と共にでも、じっくり取り組み楽しさを味わう
  - (保)保育者間(教職員間)で聖書に立ち返ってクリスマスを受けとめ、子どもと迎えるアドベントに備える
- 12月 喜びあふれて
  - ・イエスさまが私たちに生まれくださったことを喜び合う
  - ・クリスマスの喜びや感謝を周りの人たちと分かち合うことで恵みが増していく体験を重ねる
  - ・友だち・職員・家族と「共に」礼拝する
  - (保)11月までの生活や遊びを大事にしなが、アドベントと共に喜びをもって過ごす
- 1月 つたえあう
  - ・イエスさまにつながっていることの平安や喜びを共有し安心して過ごす
  - ・一人ひとりが、遊びの中で創造すること、試行錯誤することを深める
  - ・伝えあう中で、一人ではできないことや思いつかないことに出会い、遊びや生活を広げる
  - (保)より主体的に、よりつながって生きられるような環境や遊びやきっかけを考える
- 2月 響きあって
  - ・神さまは一人ひとりに違う賜物をくださっていること認め合い、それを受けとめ共に過ごせるように祈り合う
  - ・友だちとの関わりや取り組みがおもしろく、「また明日ね」という期待が続く
  - ・寒さの中にも春が訪れていることを五感で感じる
  - (保)子どもが、共に遊び共に生きる喜びや楽しさを十分に味わえるよう支える一方、一人になつてじっくりと遊ぶ時にも価値を思いつける
- 3月 信じて進む
  - ・神さまのくださった世界は良いもので満ちているという希望をもつ
  - ・神さま・イエスさまがいつもでもどこでも一緒にいてくださるという安心をもつ
  - ・自分の思いや年がたされること、友だちとの交わりに満たされること、喜びとなって、次の年度へと歩み出していく
  - (保)子どもたちの育ちを神さまに感謝し、これからはイエスさまと共に歩んでいけるように、信頼と願いをもって委ねて祈る。次年度への運搬を大切に